

【受賞事業紹介】

■大賞

株式会社 Campus Medico (広島市)

<http://www.campusmedico.jp/index.html>

○表彰事業

「固定化抗菌剤 Etak と L8020 乳酸菌特許」によるライセンシングビジネスの展開

○事業内容

広島大学の二川教授が発明した2つの特許技術を、複数の企業にサブライセンスすることでライセンス料を取得し、ライセンス料の中から広島大学に一部を還元している。

これまでは、二川教授と高田代表取締役が独自にライセンシー企業を探し、製品開発の支援を行うことで、抗菌化スプレー（エーザイ）、ヨーグルト（らくれん）、マウスウォッシュ（ジェクス）など多数の商品を上市してきた。今回、大手商社の三井物産(株)と協業することで、より広範囲な事業展開が見込め、多くの企業でライセンスに基づいた商品化が進むと期待されている。

<特許概要>

- ① 固定化抗菌剤（Etak：イータック）：長期間抗菌力が持続する特長があり、子供用肌着、白衣などの抗菌繊維製品や、抗菌スプレー、マスク用抗菌化スプレーなどの液剤商品として活用されている。
- ② 虫歯・歯周病予防効果がある乳酸菌（L8020 乳酸菌）：虫歯菌や歯周病菌を抑える効果を持つ乳酸菌の菌株として特許を取得済みで、この乳酸菌を使ったヨーグルト、タブレット、洗口液などで活用されている。

■優秀賞

①日下エンジニアリング株式会社（米子市）

<https://kusaka-eng.com/>

○表彰事業

「3Dプリンターによる「1/6スケールエンジンレプリカモデル」の商品化」

○事業内容

大手メーカーの協力企業として、電機部品の企画・製造を行いながら、自社製品にこだわり新規事業を模索していた。そのような中、鳥取県産業技術センターが所有する3Dプリンターに着目し、エンジンレプリカを製作したところ、マニアを中心に国内外から引き合いが多数あり、新規事業として確立できた。

自動車メーカーから提供された実物のエンジンをスキャニングし3Dデータを製作、そこから3Dプリンターで原型を製作し、シリコン型で部品をキャストして1/6のエンジンスケールモデルを製作するという独自の製作方法で、ゼロから模型業界に参入している。

日産自動車のスカイラインGT-Rの心臓部のRB26DETTのエンジンモデル化を筆頭に、世界初の量産ロータリーエンジンを搭載したコスモスポーツのL10B型エンジンモデル、日本車としてル・マン24時間レースで初優勝を飾ったマツダ787Bに搭載されたR26Bなど、日本の名車のエンジンモデルを卓上サイズのコレクションとして世に送り出している。

②ためま株式会社（広島市）

<https://www.tamemap.net/>

○表彰事業

「地域活動情報の地図連動サービス「ためまっぷ」の企画制作・運営」

○事業内容

事業のきっかけは、現代表の子育て時の孤立体験である。公民館や町内会のチラシは電子化されておらず、インターネットでは見ることができない膨大な量の紙のイベント情報がある。一方でWEBサイトやSNS、広報誌でも自治体や団体・施設などの情報が散乱しており、自治体や地域団体の情報発信が上手くいっていないのが現状である。

そこで、地域行事や市民活動のチラシ写真や電子情報に、位置情報を付加して日付で整理する「ためまっぷ」を企画・製作した。「ためまっぷ」は、スマートフォンのGPS機能を活用し、「今日、今からでも参加できる地域活動を5秒で検索できる」アプリサービスである。

公民館や町内会などの地域イベントのチラシをスマホカメラで撮影して簡単に投稿でき、イベントを探す人はアプリを開くだけで、今いる場所から近くの地域活動のチラシを、ジャンルを絞って見ることができる。

誰でも簡単に操作を行えるのが特徴で、サービス基本機能は特許取得済で、自治体のエビデンスも得て、全国展開を進めている。

③株式会社みとも（下関市）

<http://triparu.com/>

○表彰事業

「軽トラックに載せる脱着式シェルター「Triparu（トリパル）」の開発・販売」

○事業内容

鉄工業・塗装業で培ってきた技術を生かし、軽トラックの荷台に自社製の脱着式シェルターを載せることで、キャンピングカーに早変わりする自社製シェルター「トリパル」を開発した。

シェルターは軽トラックの荷台に載せることでキャンピングカーや防災シェルター、キッチンカーに早変わりする。トリパルの最大の特徴は、簡単に脱着できるところで、シェルター単体だと、倉庫や仕事部屋、趣味スペースとしても利用可能である。

軽自動車は小回りが利き、以前と比べ性能も格段に向上しており、AT車でも相当な馬力があることから、大型キャンピングカーでは行けない山道や荒れ地でも運転が可能である。また、燃費が良く、自動車税も安いことから経済性も高い。

近年、全国各地で自然災害が増えてきており、災害時に防災シェルターとして利用することで、ペットや乳幼児がいても安心して避難することができるメリットもある。

■特別賞

①株式会社 アクセス（広島県府中町）

<http://www.acs-racing.net>

○表彰事業

「世界初となる「7軸シリンダ制御のレーシングシミュレータ」の開発・販売」

○事業内容

バブル経済の崩壊でF1ブームが去り、モータースポーツの人気に陰りが出てきたことに危惧し、モータースポーツを愛する者として、モータースポーツの普及に少しでも役立ちたいという想いと、ゲームなどのツールを通じて興味を持ってもらえれば、リアルなモータースポーツにも興味を抱く層が拡大するはずという信念のもと、サーキットシミュレータの開発に着手した。

実際の車の動きを、よりリアルに体感できるものを作り上げるため、開発担当者が実際にサーキットで走行したり、プロドライバーからの意見をもらいながらレーシングシミュレータを開発した。

これまで2軸のみでシートを動作させてドライバーが受ける感覚を表現していた情報を、車体の「しなり」に委ねることによって、シートは前後Gとグリップ感の表現に専念。CG映像と連動したリアルタイムな臨場感はシミュレータの枠を超越し、限りなく現実に近い「リアルな走行感」を実現している。

この技術は、動揺装置として自動車メーカーや大学等の研究機関からも注目されており、2019年10月には特許を取得した。

②株式会社 キッチンヘルプ（福山市）

<http://kitchen-help.com>

○表彰事業

「作りたての美味しさ」を提供し、和食厨房の働き方改革を支援」

○事業内容

プロが認めた加熱タイプ冷凍胡麻豆腐から始まり、利便性を高めた「流水解凍タイプ」の商品を開発した。個食にカットされた商品で、冷凍のまま器に盛り付けして、自然解凍だけで提供できることから、利便性と簡便性に優れ、人手不足に悩まされている和食厨房の支援に貢献している。

量産体制が可能な製造ラインを整えることで、本格的な胡麻豆腐をリーズナブルな価格での提供が可能となったことから、既存ユーザーのリゾートホテル、和食店等に加えて、外食チェーン、通信販売、介護食といった新たなマーケットへの提案が可能となっている。

日本で有数の高級ホテルや歌舞伎座等からもリピート注文があり、今後は「春・夏・秋・冬」で季節に応じた野菜豆腐を開発し販売する予定である。

また、和食文化を広めるため、盛り付け、撮影、編集まで自社で行ったカタログを作成している。綺麗に盛り付けた完成イメージを掲載することで、商品を扱ってもらいやすくする工夫をしている。

③丸栄株式会社（広島市）

<http://hiroshima-maruei.com/top.html>

○表彰事業

「かき殻利用の新塗料「貝適空間」による建材市場への新規参入」

○事業内容

1967年から、かき殻を粉末にする技術を生かした、飼料および肥料など農業関連の事業を行なっているが、牡蠣の産出量に対して、まだかき殻の未利用分が存在していることから、さらなる利用用途として、壁材などの材料に活用できないかと、かき殻塗料の開発に取り組んだ結果、かき殻利用の新塗料「貝適空間」が完成し、販売を開始している。

かき殻は、有害物質などを無害化し、調湿性など機能性にも優れていること、また最高級の白色として、日本画や歌舞伎など伝統芸能の舞台絵の基礎地に顔料として使用されるなど、落ち着いたある柔らかな空間を演出することができる優れた素材である。

また、漆喰の伝統材でもあるが、取り扱いには熟練の技が必要であるため、当社独自の製法で改良を加え「誰でも簡単に塗ることが出来る」新塗料の開発が実現した。

「貝適空間」は、自然素材であるかき殻を主原料とした塗料であるため、添加物が少なく、かき殻の特徴であるホルムアルデヒドの吸着効果、アンモニアの吸着効果などの機能性を持ち合わせた優れた壁材となっている。それを誰でも塗りやすく改良しており、他に類がない新規性がある。製造にあたり、塗布しやすく取り扱いやすくするため、かき殻の粒度は2種の異なる粒度を掛け合わせ、塗り味やひび割れが出ないように配合している。バリエーションの1つとして、広島平和公園の折り鶴の再利用の一環で、細かく裁断し、塗った後も色がはっきりと分かるような大きさにそろえて混ぜるなどの革新性も持つ。